

富洲原中だより

富洲原中学校通信 No.25



令和7年11月25日

読解力を高めよう

暗記しただけでは忘れる

期末テストが終わりましたね。勉強した力を出せましたか？みなさんはどんな勉強をしましたか？

覚えること（暗記）を中心に勉強をしている人がいるかもしれません。「テストから時間がたって、覚えたことはだいたい忘れてしまった。」という人もいるでしょう。

おそらく脳は、いらない記憶（使わない知識）を忘れるようにできています。

問題や課題に繰り返し取り組むうちに知識は定着し、使える道具になります。

教科の見方・考え方を身に付けているか

3年生が実施した「全国学力調査」や、1・2年生の「みえスタディチェック」では、教科の見方や考え方を活用して、複雑な内容について深く考える問題が増えています。

暗記した知識は問題を解く道具の一つにすぎないということに、みなさんも気づいていると思います。高等学校の入学者選抜における学力検査でも、中学校の定期テストでも、この傾向は同じです。

読解力とは？

複雑な問題に取り組むとき、大切になるのが読解力です。読解力とは、文章や図表などに書かれている内容を正しく理解し、必要な情報を読み取る力のことです。

読解力には次のような力が含まれます。

① 文章の主張・目的をつかむ力

作者が何を伝えたいのかを読み取り、文章全体の要点を把握すること。

② 表やグラフ、図などを読み取る力

数値や関係を正しく理解し、文章と合わせて情報を整理すること。

③ 誤解せず、必要な情報を選び取る力

信頼できる情報かどうかを見極めたり、事実と意見を区別したりすること。

では、読解力を高めるにはどうすればよいのでしょうか？

読解力のトレーニング

「シン読解力 学力と人生を決めるもうひとつの読み方」(新井紀子著・東洋経済新報社)という本があります。著者は「教科書を読み解くために必要な読解力」を、一般的にイメージされている読解力と区別して「シン読解力」と名付けています。

そして「まえがき」に、次のように記されています。

『「シン読解力」とは、才能や感性ではなく、トレーニングによって身につけることができるスキルである。』

『「問題を解く」、「知識として覚える」、「やる気を出す」といったところで差がつく前に、「読めない」で差がついてしまうとしたら、これを放置してはいけません。』

読解力はトレーニングで高まります。

そこで、「読解力パワーアップ問題2025」を紹介します。

通常	2025年11月13日～2025年12月31日 こにゅうどうくん読解力パワーアップ問題2025 (第3弾) 教育委員会
通常	2025年10月10日～2025年11月30日 こにゅうどうくん読解力パワーアップ問題2025 (第2弾) 教育委員会
通常	2025年9月10日～2025年11月30日 こにゅうどうくん読解力パワーアップ問題2025 (第1弾) 教育委員会

これは3年生に向けてL-Gateで配信されている読解力のトレーニング問題です。教科の知識は必要としませんが、なかなか手ごたえのある問題です。すでに取り組んでいる人もいますが、まだの人はぜひ取り組んでください。

本校の1・2年生にも特別に配信しておきました。ちょっと難しいですがチャレンジする価値はあると思います。

みなさんには他にも読解力のトレーニングの機会があります。そう、ベーシックタイムの「新聞」です。

やり方は、記事を読んで感想を書く、というものですが、感想を書くよりも効果があるのは、記事を読んで要約する、という方法です。新聞記事の要約は『シン読解力』でも効果的なトレーニングの一つとされています。

ちなみに『シン読解力』によると、著者らが開発した読解力を測るテストRST(Reading Skill Test)を、新入社員研修や就職試験で活用する企業が増えてきているということです。

The translated version of this Tomisuhara Junior High School newsletter is available on the school website. Please access it via the QR code.

